

大腸がん症例報告-1

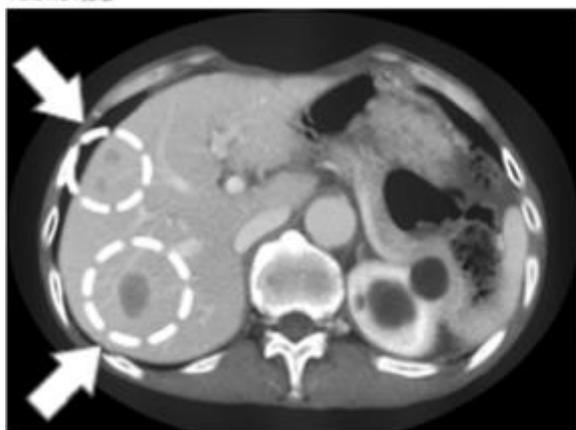
説明:

68 歳，男性

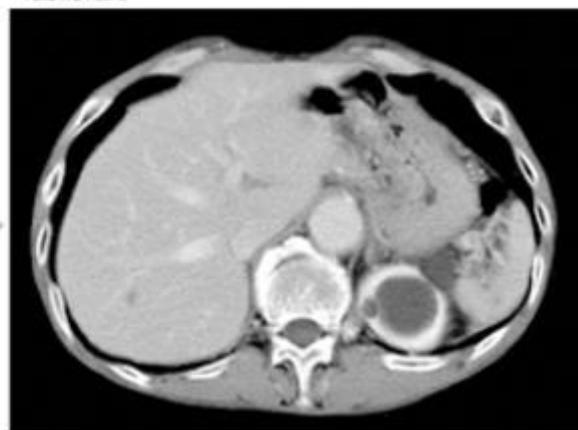
結腸癌手術後，發現轉移到肝臟 25 處

開始高度活性化 NK 細胞治療後小結節消失，大腫瘤也基本消失

治療前



治療後



2008 年 5 月被診斷為結腸癌 4 期，接受手術，6 月檢查發現已經轉移至肝臟 25 處。

6 月開始化療，7 月開始高度活性化 NK 細胞療法。

化療 7 次，NK 細胞療法 5 次治療後的檢查結果顯示；轉移到肝臟最大的腫瘤的邊界開始模糊，有縮小的跡象，除此之外 2 個形狀明顯的腫瘤已經消失。

化療 12 次，NK 細胞療法 10 次治療後，最大的腫瘤已經縮小到 1/3

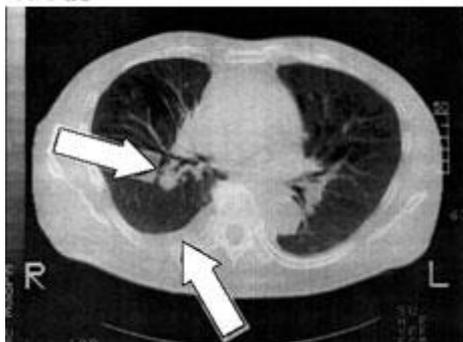
化療 21 次，NK 細胞療法 20 次治療後，最大的腫瘤基本消失，腫瘤標記物數值也恢復到正常範圍內，食欲恢復，體重也增加了

大腸がん症例報告-2

説明:

9 年後に肺、骨に転移した大腸ガン。腫瘍、胸水も消失し、自覚症状もなし。

治療前



治療後



大腸がん症例報告-3

説明:

大腸がん手術後多発性肝転移、治療開始 6 ヶ月で転移がんはほぼ消滅。

治療前



治療後



大腸がん症例報告-4

説明:

大腸がん手術後多発性肝転移、治療併用が望まれた。

治療前



大腸がん症例報告-5

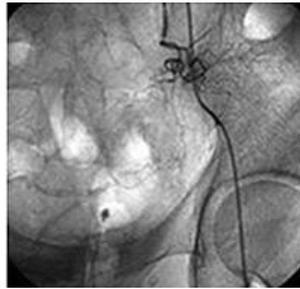
説明:

大腸がん＋遠隔転移（肝臓）、非常に末期的状況から治療期間約5ヶ月で腫瘍の急速な縮小を認める。

治療前



治療後



S状結腸がん症例報告-6

説明:

大腸がん手術後多発性肝転移、治療開始6ヶ月で転移がんはほぼ消滅。

治療前



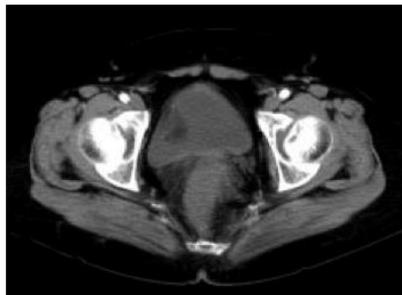
治療後



大腸がん症例報告-7

説明:

直腸がんの局所再発、治療期間6ヶ月で局所再発病巣はほぼ消滅

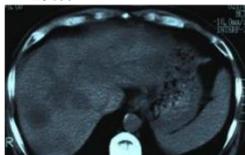


大腸がん症例報告-8

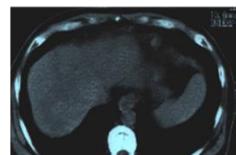
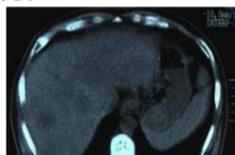
説明:

53歳男性、下行性結腸癌、転移後肝臓の映射は肝臓左、右葉に多発性低密度腫瘤像を現れる

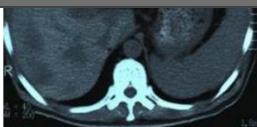
治療前



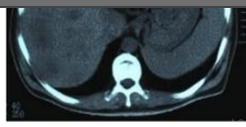
治療後



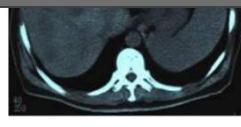
大腸がん症例報告-9



2001年8月31日



2001年9月27日



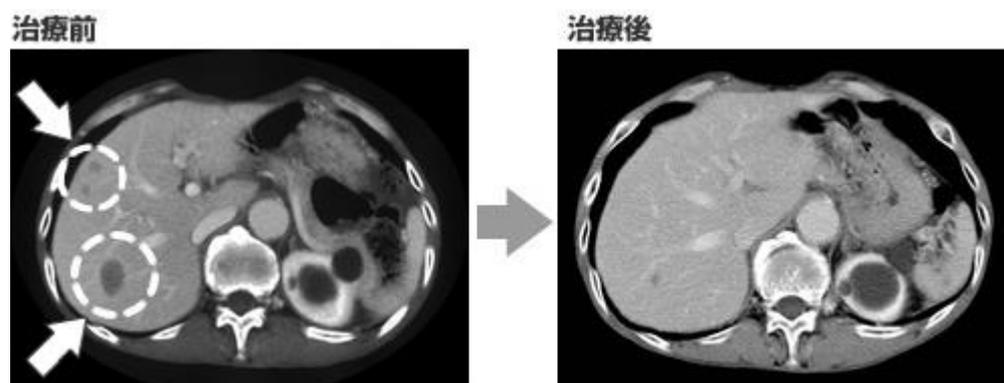
2002年3月14日

● 事例 1.直腸癌(直腸がん) ⇒肝臓へ転移(肝臓がん)

直腸癌(直腸がん)の手術後、肝臓に25箇所転移が判明。

抗がん剤と高度活性化NK細胞療法の併用にて、小さな転移巣は消失し、一番大き

な転移巣もほぼ消失！



68 歳男性

直腸がん症例報告-2

説明:

早期対策の甲斐あって治療開始3ヶ月で転移がん腫瘍は完全に消失、腫瘍マーカーの数値もすべて正常化。

治療前



治療後



直腸がん症例報告-3

説明:

直腸がんから両方の肺へ転移、治療不可の状態から治療開始3ヶ月で厳しい予後を回避

治療前



治療後

